

発言通告書（総括表）

平成26年 第4回 定例会 一般質問

NO	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
1	内田議員 (自民)	1. 都市計画マスタープラン について 2. 子供たちの教育環境につ いて	①千代田区都市計画マスタープランの改定 ②首都高速高架橋の撤去と電線類の地中化推進 ①小・中学校の校庭整備	区長並びに 関係理事者
2	永田議員 (自民)	公立学校の学級編制について 教員の質について	小学校1学年から35人学級が導入されているが、公財政の観点からの財務省の指摘と 少人数学級の教育効果を主張する文科省との見解の相違がある。本区の財政と教育効果 についての所見を問う。 教員の採用倍率の低下によって教員の質の低下が懸念されている。本区の教員の指導力 向上と質の確保について問う。	教育長及び 関係理事者
3	中村議員 (ネット)	全国市町村との連携と人材育 成について	ノーベル賞受賞者が増えている一方で、高校生の理科のレベルが下がっている日本。 地方創生担当大臣を置かなければならないほど、全国市町村が疲弊してきている日本。 全国市町村からのヒト、モノ、情報に支えられて成り立っている都市。 全国市町村と連携する姿勢を明記している千代田区。 千代田区の地の利や利点を生かした連携をより具体化する時が来たのではないか。 ①ステージとして千代田区を活用してもらう ②理工系学生への支援が必要 ③Uターンする人たちへの支援をする などが考えられないか。	区 長 所管部長
4	松本議員 (自民)	○子ども子育て支援事業計画 について	・来年4月1日から全国で一斉にスタートする子ども・子育て制度を受け、千代田区で の子ども・子育て支援策について問う ・乳幼児人口が増加する中、今後の乳幼児施設の需要数の把握とその対策について問う	区長並びに 関係理事者

発言通告書（総括表）

平成26年 第4回 定例会 一般質問

NO	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
5	寺沢議員 (声)	千代田区で安心して暮していく為の環境対策について 公共施設等の減価償却の取り組みについて	<ul style="list-style-type: none"> ・千代田エコシステムについて ・大気中のVOC対策について ・千代田区地球温暖化対策条例について 他 <ul style="list-style-type: none"> ・千代田区公有財産白書を基にして減価償却を行い、区民に明らかにしてはいかがか 	区長並びに 関係理事者
6	岩佐議員 (民主)	1. 景観に配慮した公共サイン計画について 2. 条例の見直し・点検制度について	<p>6年後にオリンピック・パラリンピックを開催されるにあたり、また、外国人の居住者も増えつつある千代田区にとって、景観に配慮しつつ機能を確保したサイン計画について問う。他</p> <p>制定後一定期間を経た条例について、社会情勢の変化や区民のニーズに対応しているのか定期的に検証し見直す仕組みについて問う。他</p>	区長および 関係理事者
7	飯島議員 (共産)	学校図書館の充実について いつでも利用できる子どもの「本格的な遊び場」について	<p>区立学校に司書派遣が行われ、よい結果が示されている。 学校図書館法が改正され、来年度から学校図書館に、司書を置くことが努力義務となった。 学校図書館の機能をさらに活かすために、常勤・専任・専門の司書配置などの充実を求める。</p> <p>子どもの遊び場確保のための条例に基づき、時間限定の遊び場が実施されている。さらに、将来的にめざすべき本格的な遊び場に向けての区の取り組みを問う。</p>	区長並びに 教育長

発言通告書（総括表）

平成26年 第4回 定例会 一般質問

NO	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
8	林議員 (千代田)	○歯科口腔施策 平均寿命と健康寿命 ○複合施設の今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・「医科は平均寿命」「歯科は健康寿命」 ・区民歯科健診 ・今後の歯科口腔施策 ・千代田区公有財産白書について ・複合施設のこれまでの課題と問題点 ・複合施設の分類化と低未利用地の活用 	区長並びに 関係理事者
9	うさみ議員 (行革ク)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 区道の安全対策 2. 地域コミュニティの活性化 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 横断歩道、ガードレール等の整備について 2. マンション（住民）への対応、町会との連携等について 	区長および 関係理事者
10	はやお議員 (千代田)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症対策の進捗と今後の方向性 2. 虐待問題への包括的な取組 	<p>本区では、認知症高齢者への適切なサービスの提供のため、区独自の認知症早期発見の仕組みづくりと認知症支援サービスの構築を進めてきている。そこで、その進捗と今後の方向性について問う。</p> <p>(1)多様な視点で試行・推進してきた認知症対策の総括(成果と課題)と今後の方向性について</p> <p>(2)上記を踏まえ、高齢者総合サポートセンターの認知症コーディネーターの役割機能について</p> <p>11月は、虐待防止推進月間、いわゆるオレンジリボンキャンペーンを迎える。そこで、いま一度、本区における虐待問題への包括的な取組について問う。</p> <p>(1)虐待等防止連絡委員会及び実務者会議の総括(成果と課題)について</p> <p>(2)虐待相談に適切に対応するための担当者の人材育成について</p>	区長並びに 関係理事者

発言通告書（総括表）

平成26年 第4回 定例会 一般質問

NO	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
11	高澤議員 (千代田)	1. 安心して住み続けること のできる千代田を目指して 2. 環境にやさしい水素社会 の実現について	招集挨拶の中のキーワードとして「地域で安心して暮らし続ける」とあるが、福祉・子育て施策以外にも様々な施策の展開が必要と考えるが、区の見解は？ エネルギー基本計画が閣議決定され、「水素社会」の実現に向けた取り組みが加速している。「環境モデル都市千代田」としてどのように受け止め、取り組んでいくのか？	区長及び 関係理事者